

豊田 PCB 処理事業における豊田市の対応について

1 豊田 PCB 処理施設への立入検査の実施状況について

令和4年度第2回の安全監視委員会後（令和5年3月14日から令和5年10月30日まで）、市は中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）豊田 PCB 処理事業所へ計8回の立入検査を行いました。

概要は表1のとおりです。

表1 JESCO への立入検査の概要

	立入日	検査概要
①	令和5年 3月29日	【立入検査】 ・コンデンサー手解体エリアの稼働状況を確認。 ・稼働状況に異常は見受けられなかった。
②	4月27日	【立入検査】 ・搬入物がいたため、ほとんどの機器が稼働していなかった。 ・稼働状況に異常は見受けられなかった。
③	5月29日	【立入調査】 ・PCB 廃棄物の保管状況を確認。適正に保管されていた。 ・PCB 濃度オンラインモニターの稼働状況を確認。異常は見受けられなかった。
④	6月27日	【PCB 廃棄物搬入作業の確認】 ・手順通りに搬入され、搬入された廃棄物の保管状況も問題なかった。
⑤	7月27日	【処分業許可の定期立入】 ・指摘事項なし ・稼働状況に異常は見受けられなかった。
⑥	8月31日	【行政検査】 ・行政検査（排出ガス中のPCB濃度測定）を実施した。 現在結果について分析中。
⑦	9月26日	【立入検査】 ・コンデンサの自動解体ラインの解体状況を確認した。 ・安全管理、作業内容に問題は見受けられなかった。
⑧	10月25日	【行政検査】 ・行政検査（処理後物）を実施した。 現在結果について分析中。

2 令和5年度 PCB 環境モニタリング調査について

(1) 調査地点及び時期

PCB 処理施設の稼動に伴う環境への影響を把握するため、平成 14 年度から大気、河川水質、河川底質について、平成 16 年度からはそれらに土壌を追加して PCB 環境調査を実施しています。調査地点は、表 2 及び図 1 のとおりです。

表 2 PCB 環境モニタリング調査地点及び時期

調査媒体	調査地点名	所在地	回数	調査時期
大 気	①山之手小学校	山之手 6 丁目	2 回/年	夏・冬
	②南部局	竹元町南細畔		
	③小原支所	小原町上平		
水 質	④逢妻男川 (PCB 処理施設 直下流)	元町地内	2 回/年	夏・冬
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	駒場町雲目		
底 質	④逢妻男川 (PCB 処理施設 直下流)	元町地内	1 回/年	冬
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	駒場町雲目		
土 壌	①山之手小学校	山之手 6 丁目	1 回/年	夏

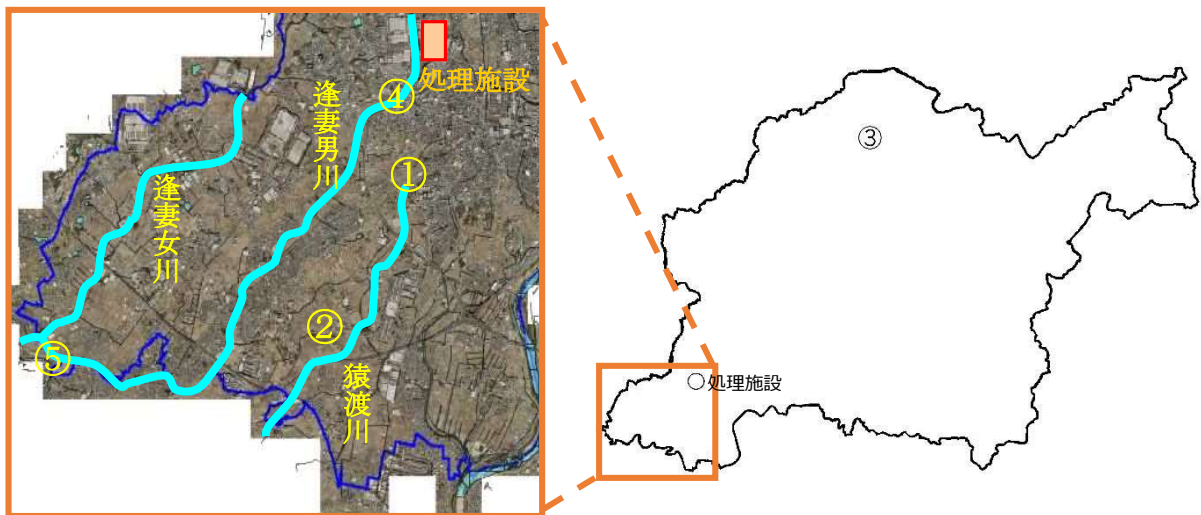


図 1 調査地点

(2) 調査結果について

令和5年度夏季（大気、土壌、河川水質）を実施し、いずれの結果も平成14年から環境省が実施している全国調査結果の範囲内であり、施設稼働に伴う異常は認められませんでした。

調査結果は表3、経年変化については、図2から図5のとおりです。

今後も継続して、PCB処理施設の稼働に伴う環境への影響を把握してまいります。

表3 環境モニタリング調査結果

媒体	調査地点	項目	H14~H17 夏季 (操業開始前)	H17 冬季~R4 冬季 (操業開始後)	R5 夏季	H14~R3 環境省 全国調査
大気	①山之手小学校	総 PCB(pg/m ³)	94~300	22~810	580	16~3,300
		Co-PCBs(pg-TEQ/m ³)	0.0033~0.0051	0.000086~0.0055	0.00047	
	②南部局	総 PCB(pg/m ³)	110~570	23~790	130	16~3,300
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)	0.0034~0.0090	0.000074~0.0070	0.00012	
	③小原支所	総 PCB(pg/m ³)		13~550	150	16~3,300
		Co-PCBs (pg-TEQ/m ³)		0.000063~0.0057	0.000096	
河川水質	④逢妻男川 (処理施設 直近)	総 PCB(pg/L)	1,300~1,500	120~1,900	2,000	nd~11,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/ℓ)	0.035~0.20	0.0014~0.10	0.073	
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	総 PCB(pg/L)	320~2,200	120~8,600	440	nd~11,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/ℓ)	0.033~0.19	0.00085~0.096	0.028	
河川底質	④逢妻男川 (処理施設 直近)	総 PCB(pg/g)	17,000	420~7,200		nd~5,600,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	1.0	0.0064~0.20		
	⑤逢妻男川 (雲目橋)	総 PCB(pg/g)	400	120~2,600		nd~5,600,000
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.022	0.0054~0.089		
土壌	①山之手小学校	総 PCB(pg/g)	220~360	20~1,200	22	
		Co-PCBs (pg-TEQ/g)	0.070~0.12	0.000057~0.18	0.000068	

図2 PCB環境調査の経年変化（大気）

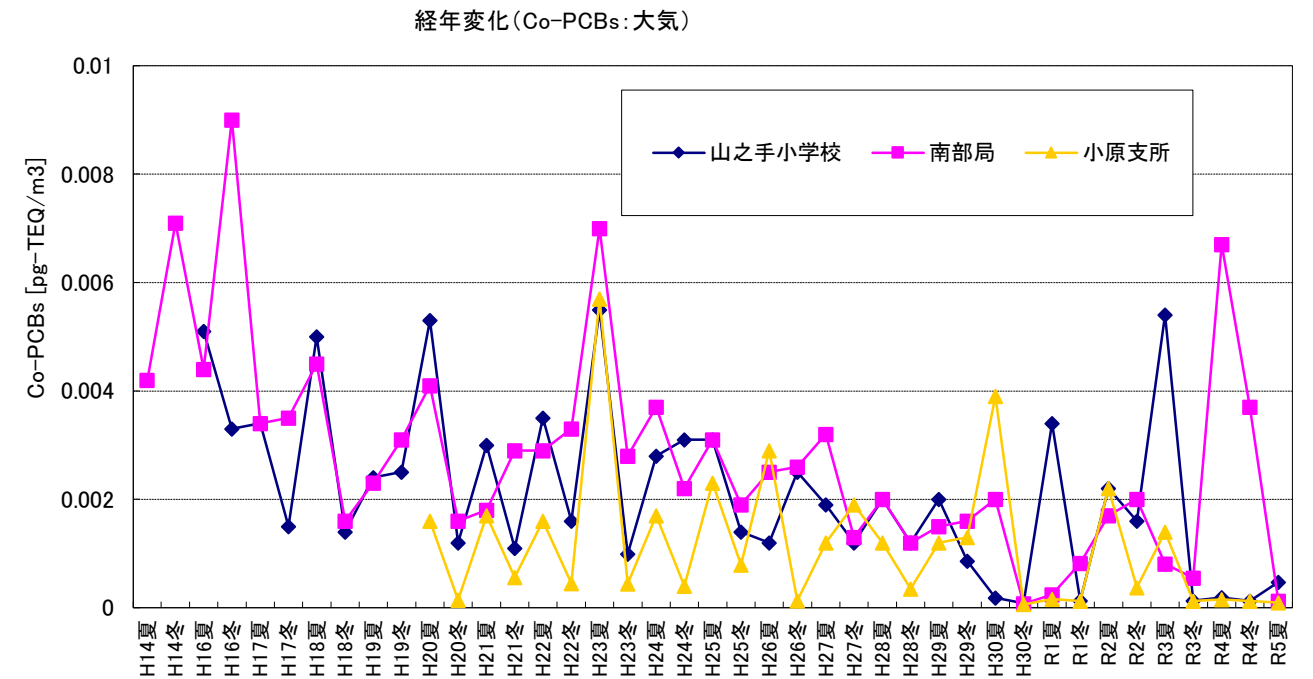
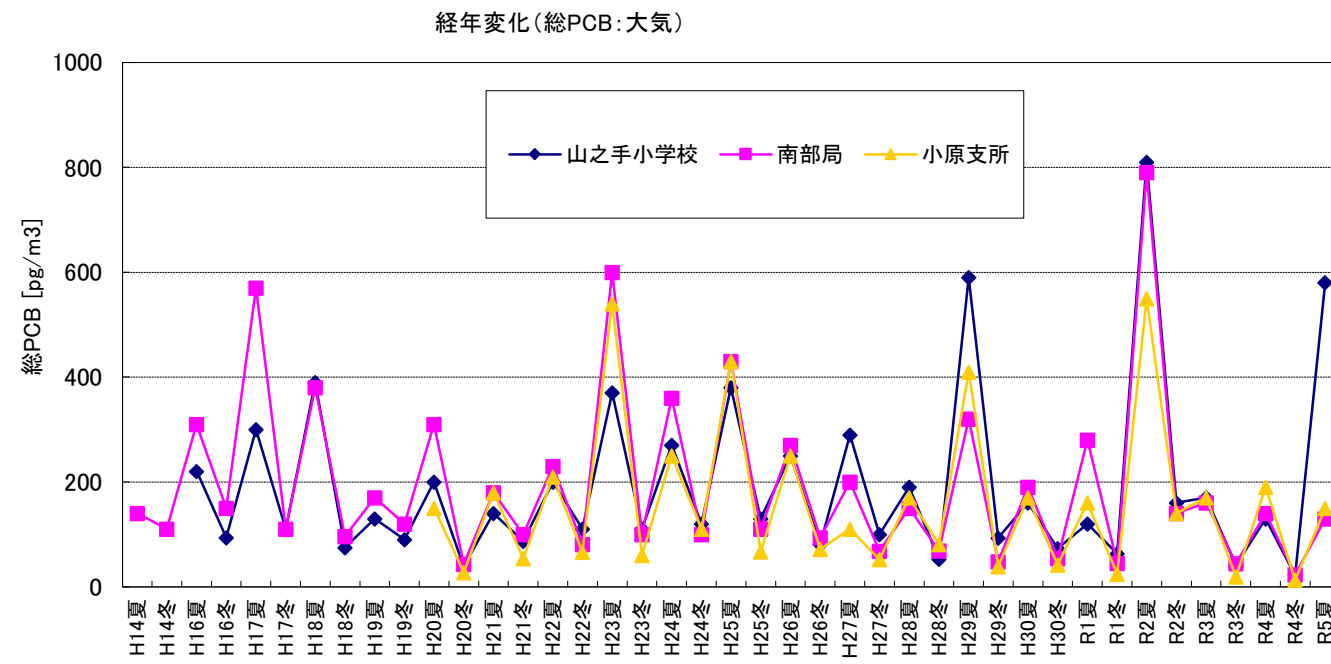


図3 PCB環境調査の経年変化（河川水質）

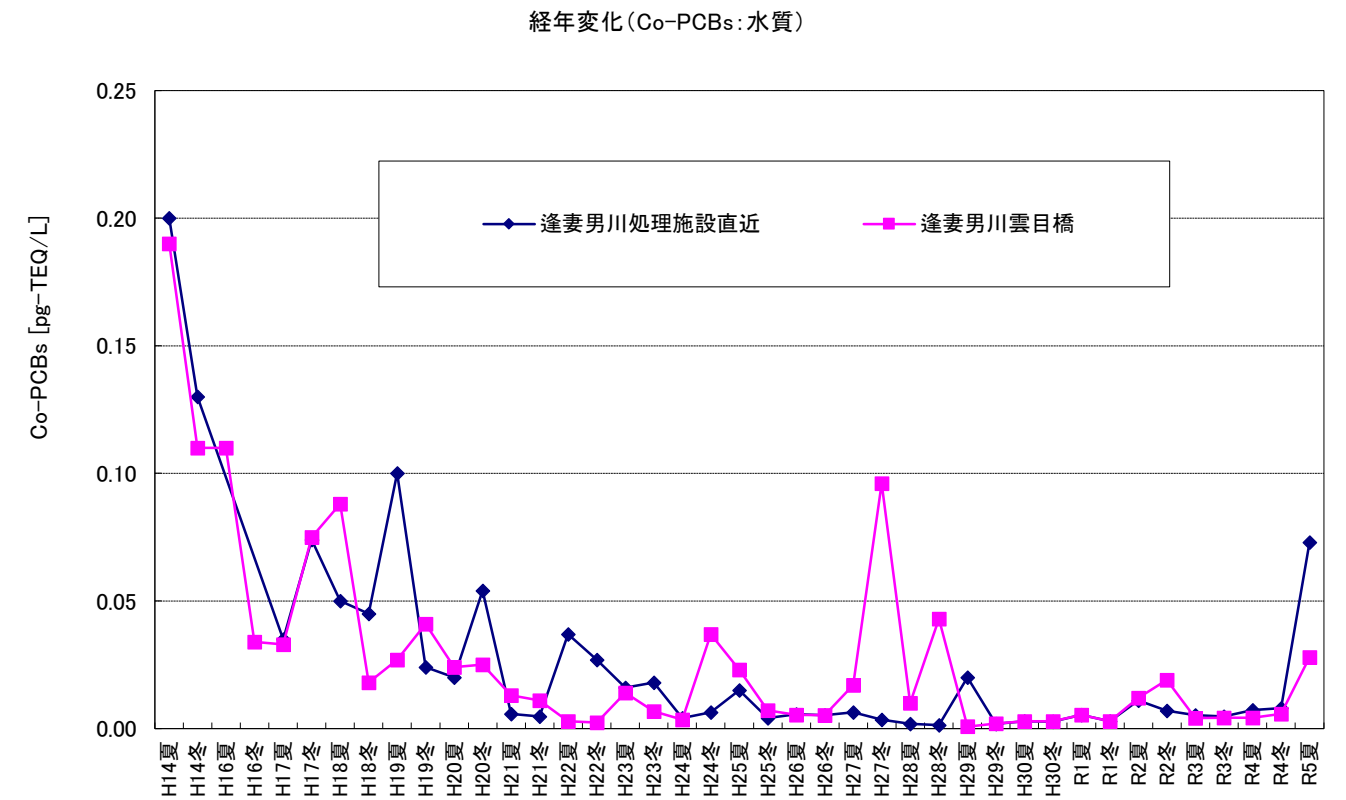
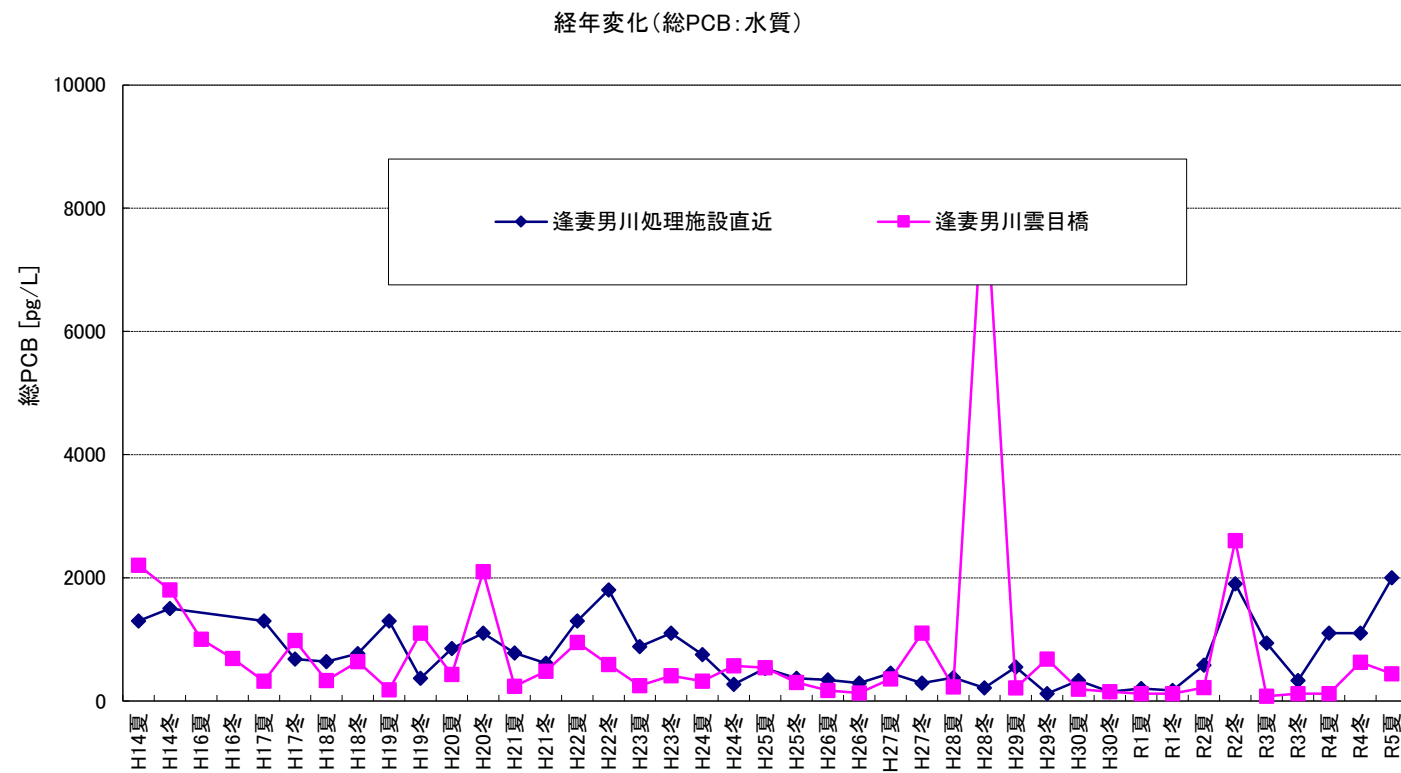


図4 PCB環境調査の経年変化（河川底質）※夏季の測定なし

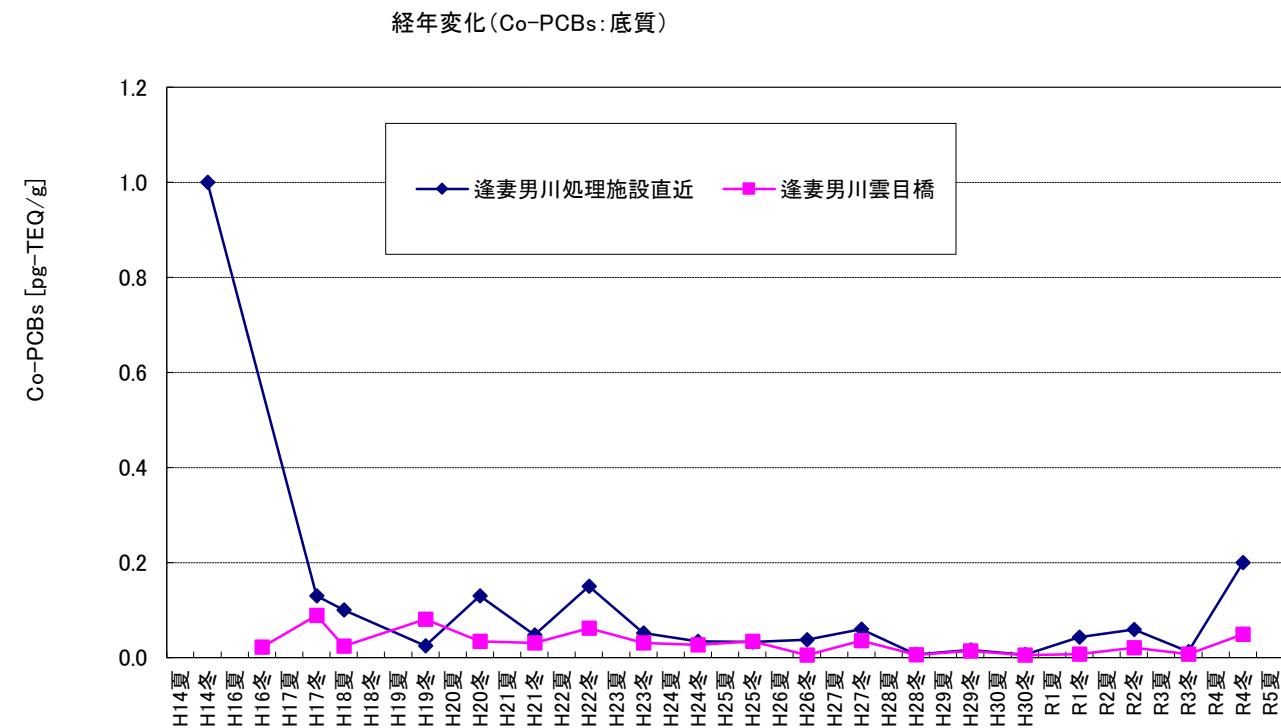
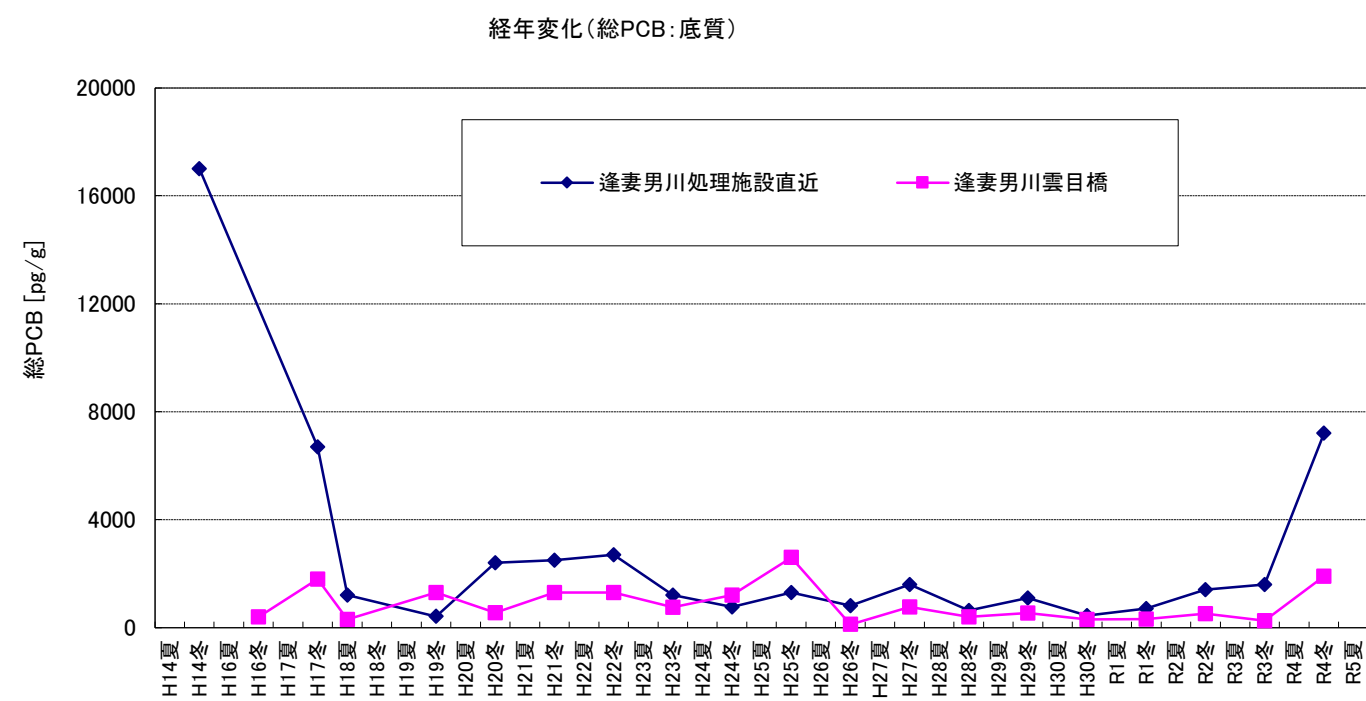
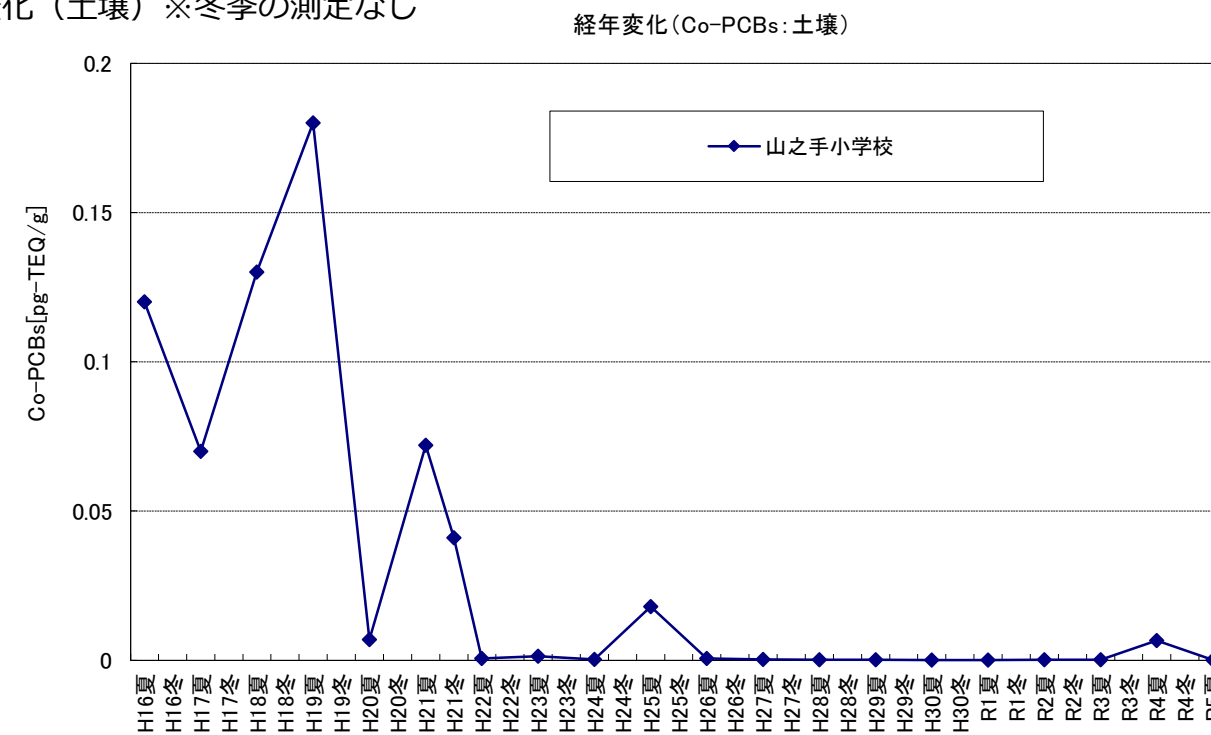
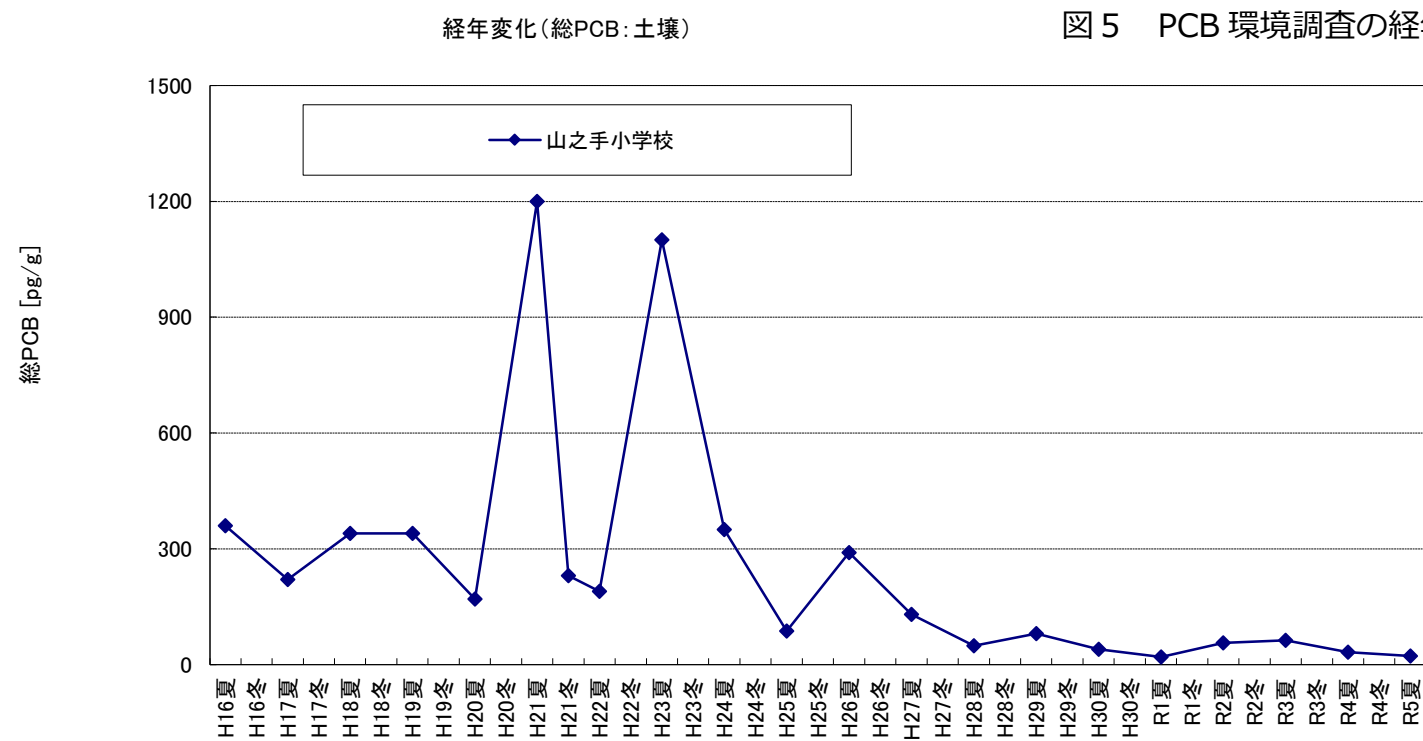


図5 PCB環境調査の経年変化（土壌）※冬季の測定なし



3 豊田市 PCB 処理安全監視委員会作業部会について

■開催日

令和5年6月2日（金） 豊田市役所 環境センター

■議題

1. 豊田 PCB 廃棄物処理施設コンデンサー自動解体ラインの解体撤去について JESCO 各事業所の作業時のモニタリングについて【JESCO】
2. 豊田 PCB 廃棄物処理施設の解体撤去時の安全管理について【JESCO】
3. 令和5年度末の確実な処理完了に向けたスケジュールについて【環境省】

■意見

【議題1】解体撤去、モニタリングについて

- ・周辺モニタリングの方向性は？→換気空調が動いているうちは今まで通り、解体時には敷地境界を測っていく。今年度 JESCO と協議し進めていく。（豊田市）
- ・遮蔽フードの解体方法は？→拭いて濃度を下げた後切断をする。手法は検討中（JESCO）
- ・解体スケジュールの確認→6月から順番に清掃中（JESCO）
- ・解体時のプラントメーカー、JESCO、元請けの関わりかたについて
→今後検討（JESCO）

＜オンラインモニターの異常値が出た場合＞

- ・手分析中にかかる1時間の中に外に放出される可能性はないか。万が一活性炭が働かなかった場合は外に出ないか？活性炭についても資料に記載してほしい。
- ・異常値が出て緊急停止スイッチが押された場合、中にいる人の安全確保は？
- ・異常が起きたら止めるのが原則では
- ・分析をしている一時間半の間に吸排気を動かしたまま待機しているのは、安全管理上よくない。

【議題2】安全管理体制について

- ・安全衛生連絡会と安全審査会の頻度は？→安全衛生連絡会は月に数回、安全審査会は工期毎に実施。（JESCO）
- ・安全衛生連絡会に安全監視委員会のメンバーが見学することは可能か→可能（JESCO）
- ・運転会社、元請け、下請けの防災訓練はどうなっているか。→JESCO は定期的に防災訓練をしている。そこに参加してもらうことも検討している。（JESCO）

【議題3】令和5年度末の処理完了に向けたスケジュール

- ・ 一月末に搬入が集中した場合、令和5年度に完了できるのか？→処理能力としては十分に対応できる。(JESCO)
- ・ 仮に12月末以降に処理の要望が出た場合はどうなるか？→その場合の対応は環境省からスケジュールを示していく。

＜参加報告＞

※6/28 第一回安全衛生連絡会を委員3名
(金子氏、佐藤氏、村瀬氏)と事務局3名で見学

- ・ JESCO、運転会社、工事元請が参加
- ・ 安全対策について情報を共有。
- ・ 緊急時の体制。他のJESCO事業所などで起きたトラブル事例及び原因と対策について説明があった。

